

③地域の教育力の回復をめざす

- ・スポーツのまち西津へ（少年野球・スポ少の育成）

将来を担う子供たちの健やかな心身の発達を図るため、指導者・保護者と地区が連携して、少年野球やスポーツ少年団などのスポーツ育成組織を支援します。



④社会教育の充実をめざす（生涯学習の充実）

- ・地域活性化の核は公民館



公民館をただ利用するだけでなく、公民館ボランティアの設置などにより地域全体で公民館運営を支援し、地域活性化の拠点施設としての認識を深めます。

- ・西津の伝統文化を次世代に

失いつつある西津の伝統文化を次世代へ継承するため、青年・壮年層を中心とした、後継者およびリーダーとなる人材の育成を図ります。



⑤スポーツ・レクリエーションの充実をめざす

・みんな健康のまちをめざして



若狭総合公園や温水プールなど地区にある資源を有効に活用し、誰もが参加しやすいイベントを企画するとともに、スポーツ指導者の育成や体育祭などへの参加意識高揚を行い、みんなが健康なまちをめざします。

⑥食生活改善・食育の推進と充実をめざす

・古き良き西津の味を求めて

古くから西津地区に伝わる伝統料理の良さを再認識し、次世代に継承するため、食生活改善推進委員の研修会をはじめ、学校給食へ地場産食材の提供や料理教室の開催などを通じ、地域の食の改善と充実をめざします。



第2章 生きがいに満ちた福祉のまちづくり

戦後日本はいち早く福祉行政の推進に取り組んでまいりました。

しかしながら、世界の先進国家の水準に比べるとまだまだ低く、誰もが満足できるものでないことはご存知のとおりです。

そのなかで、近年急速な少子高齢化などの進展により、今まで積み上げてきた社会保障制度や福祉政策に歪みが生じており、行政が取り組む福祉政策も頭打ち傾向にあります。

本章では、地域が一体となり高齢者や障害者をケアする環境をめざし、地域として取り組むことができる福祉のまちづくりについて考えました。

①地域でお年寄りを守ろう（高齢者福祉の充実をめざす）

・お年寄りを大切に

民生委員の方々と連携をとりながら、地区として高齢者への支援体制を強化するとともに、老人クラブへの支援や健康教室の開催などレクリエーションなどのイベントを通じ、高齢者が安心して暮らすことができるまちをめざします。



②弱者（障害者・乳幼児・要介護老人等）にやさしいまちづくりをめざす

・弱者にやさしいまち西津へ



障害者の自立支援や育児、母子寡婦・父子家庭などの相談や支援に取り組むことも検討しながら、現在行政が行う福祉政策の充実に向け要望を行うなど、地域としてできる福祉の充実に取り組み、弱者にやさしいまちをめざします。

③安心して暮らせる思いやりに満ちたまちづくりをめざす

・安心できるまち西津をめざして

地場産業、雇用の拡大や弱者にやさしい環境づくり、そして防犯・防災対策の充実など、心身ともに安心できるまちの実現をめざし取り組みます。



IV. 歴史文化編

<基本テーマ>

西津の歴史を探り、新しい文化の創造につなげる

<テーマの説明>

西津には、祭りや箸、漁業などに関する古い歴史があります。そうした歴史は、今、世代から世代へ引き継いでいかなければ失われてしまいかねません。この西津の歴史を探り、伝え残すとともに、次の時代の新しい文化の創造につなげていきます。

<本編の構成>

本編の構成は次のとおりです。

●第1章 西津の歴史の調査

- 第1節 西津の歴史の調査
- 第2節 西津の歴史の保存・伝承

●第2章 西津の文化の調査・伝承

- 第1節 西津の文化の調査
- 第2節 西津の文化の保存・伝承と新しい文化の創造

第1章 西津の歴史の調査・伝承

西津の歴史は古いですが、現代までの歴史が体系立てて調査されたことがありません。今の西津をかたちづけてきた優れた歴史を調査・整理します。

また、西津の歴史については、すでに若い世代にとっては、わからなくなってしまうことも多くあり、今、世代から世代へ伝え残していかなければ失われてしまう恐れがあります。この西津の歴史を伝承していくことにより、誇りある西津のまちづくりをめざします。

①西津の歴史の調査

・西津の歴史を様々な角度から調査します

- 西津の漁業の歴史
- 箸製造技術の変遷
- 町名の歴史
- 西津が輩出した先人、偉人



②西津の歴史の保存・伝承

・西津の歴史を保存し、伝承します



- 西津村史の編さん
- 天ヶ城に関する資料を収集し、天ヶ城史を編さん
- 昔の西津を写した写真のデジタル保存化

第2章 西津の文化の調査・伝承

箸などの地場産業や方言など、西津には西津らしい文化があります。これらは、優れた文化であるにも関わらず、あまりにも身近であるため、そう認識されていない場合が多いのではないのでしょうか。こうした西津特有の個性的な文化について改めて調査します。

また、調査した西津の文化を地区民が触れ、学ぶことができるように工夫しながら保存し、次の世代に伝えていくとともに、新しい文化の創造につなげます。

①西津の文化の調査

・西津特有の個性的な文化について調査します

- 西津の地蔵や石碑の由来
- 地場産業、伝統工芸等
- 西津特有の方言、ことわざ等
- 西津らしさが残る町並みや家屋
- 食文化や遊び、習慣
- 西津の寺社仏閣



②西津の文化の保存・伝承と新しい文化の創造

・西津の文化を保存し伝えます。また、新しい文化を創造します。

<文化の保存>

- 西津の旧町名や地蔵、寺社仏閣等を盛り込んだマップ作成
- 西津の文化を紹介する紙芝居や冊子作成
- 小学校の空き教室を利用した箸の製造機器や昔の遊び道具等の保存



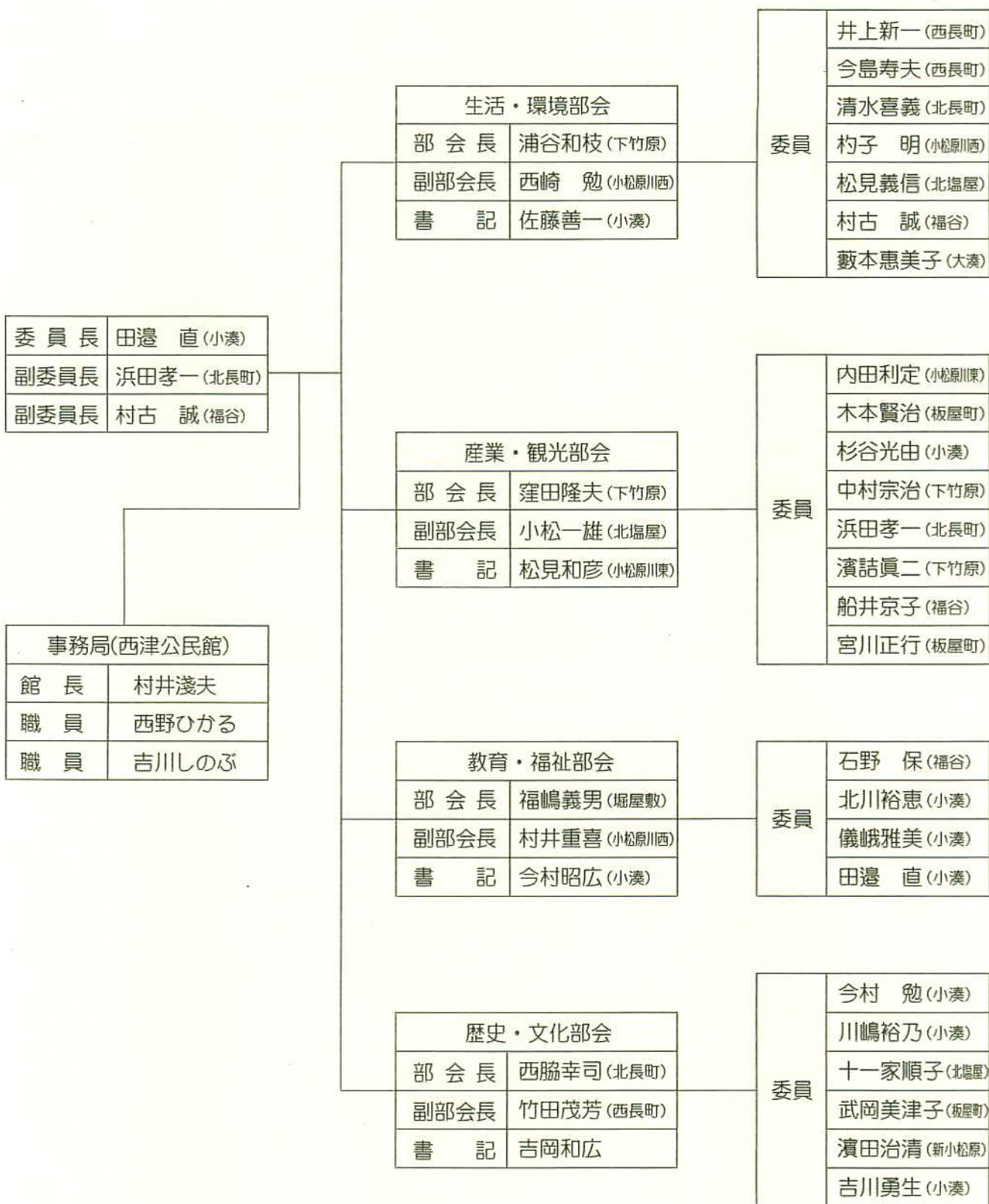
<文化の創造>

- 石碑にまつわる顕彰祭の開催
- 西津祭りのイベント化、統一化
- 地区民体育大会や各種スポーツ大会の再生
- ふれあい祭りの充実を図り、新しい文化・交流事業の創造

委員会活動経過

期	日	内 容
H13	7月	第1回まちづくり委員会設置懇話会（区長会長他）
	7月	第1回まちづくり委員会設置準備委員会（区長会長・団体長他）
	9月	委員公募（応募者7名）
	10月	第2回まちづくり委員会設置懇話会
	11月	第2回まちづくり委員会設置準備委員会
	12月	第3回まちづくり委員会設置懇話会
H14	1月	第3回まちづくり委員会設置準備委員会
	1月	第1回設立委員会（全体会） 委員会設置要項・正副委員長選出
	2月	正副委員長会議 事業計画・予算等
	2月	第2回委員会（全体会） 事業計画・予算等・フリートーキング
	3月	正副委員長会
	3月	第3回委員会（全体会）
	4月	正副委員長会
	4月	第4回委員会（全体会） 研修会・西津の歴史について 講師 敷本金一氏
	5月	第5回委員会（全体会） 13年決算・14年事業計画・予算
	6月	第6回委員会（全体会） タウンウォッチング・西津のまちを見て歩こう会
	7月	正副委員長会議（部会設置について）
	8月	第7回委員会（全体会） 生活・環境、産業・観光、教育・福祉、歴史・文化部会設置
	8月	各部会はじまる 以降、H16年1月まで、月1・2回のペースで各部会開催
	11月	第8回委員会（部会長による中間報告）
	12月	委員会報・OH! やうち 第1号発行
H15	1月	正副委員長会議
	2月	アンケート実施【地区全世帯（回答108）及び小学生】
	2月	委員会報・OH! やうち 第2号発行
	3月	第9回委員会 先進地視察・福井市岡保地区まちづくり委員会 14名参加
	5月	正副委員長・部会長合同会議 14年決算・15年予算他
	5月	第10回委員会（全体会） 14年決算・15年事業計画・予算他
	6月	正副委員長・部会長・同書記合同会議
	9月	正副委員長・部会長・同書記合同会議
	10月	まちづくりプラン中間報告作成（地区全世帯配布）
	10月	第11回委員会（全体会） 研修会 ふるさとの文化財・千石荘
	11月	紙芝居「ぼくのまち西津」制作、西津ふれあいまつりで発表
12月	正副委員長・部会長・同書記合同会議	
H16	1月	正副委員長・部会長・同書記合同会議
	2月	正副委員長・部会長・同書記合同会議
	2月	正副委員長・部会長・同書記合同会議
	3月	正副委員長・部会長・同書記合同会議 まちづくりプラン原案作成
	3月	第12回委員会（全体会） まちづくりプラン承認 西津地区まちづくりプラン市長へ提出・地区全世帯配布

西津・やうちのまちづくり委員会 組織図



活動スナップ



第1回設立委員会 (H14.1)



部会



ふるさとの文化財をたずねて (千石荘)

◆◆◆ あ と が き ◆◆◆

「めざせ！住みたくなるまち日本一・西津」を合言葉に、自分たちの住んでいるまちの将来図を策定するまちづくり集団、西津・やうちのまちづくり委員会が公募や団体・区長推薦による35名で発足したのが平成14年1月でした。

発足はしたものの、何しろこのような事業に取り組むのは初めての素人集団、何からどのように取り組めばよいのか、全く見当もつきませんが、とにかく「西津の事なら何でもええからしゃべろう」から始めました。

話し合いでは、夢の様な事から身のまわりの現実問題まで、多方面にわたる様々な問題提起がされました。

それらを基に、正副委員長はじめ委員の皆さんは4つの専門部会に分かれ、月1～2回のペースで部会を開き、時には激論を交わし時間の経過も忘れる程真剣に取り組んでいただきました。

このように、委員の皆さんのご努力によりまして、お手元に西津地区まちづくりプランをお届けする事が出来ました。

素人による手づくりの西津の将来図です。欠落している事項もあるかと存じますが、ぜひお目とおしいただぎたいと存じます。そして、このプランが絵に書いた餅にならないよう次は実践です。地区のみんなで魂を入れていただきたいと思います。

最後に、今日にいたるまでの、地区の皆さんのご指導ご支援と委員長はじめ委員各位のご努力に対し、心から敬意と感謝を申し上げます。

委員の皆さん長い間ご苦勞さんでした。

平成16年3月

西津・やうちのまちづくり委員会
事務局長 西津公民館長

村 井 淺 夫

なお、この冊子は『西津地区まちづくりプラン』の一部を概要版として作成したものです。プランの詳細をご覧になりたい方は、お手数ですが最寄の委員（26ページの組織図参照）もしくは公民館までお問合わせいただきますようよろしくお願いいたします。

西津整備計画はわかりマップ



海岸再生・美化事業
(川西海岸再生)



区名表示板設置事業
(主要道路沿いに設置)



道路バリアフリー事業路線
(国道162号道路改良)

海岸再生・美化事業 (定期的な海岸清掃活動)

県道 泊・小浜停車場線

道路バリアフリー事業路線

国道162号

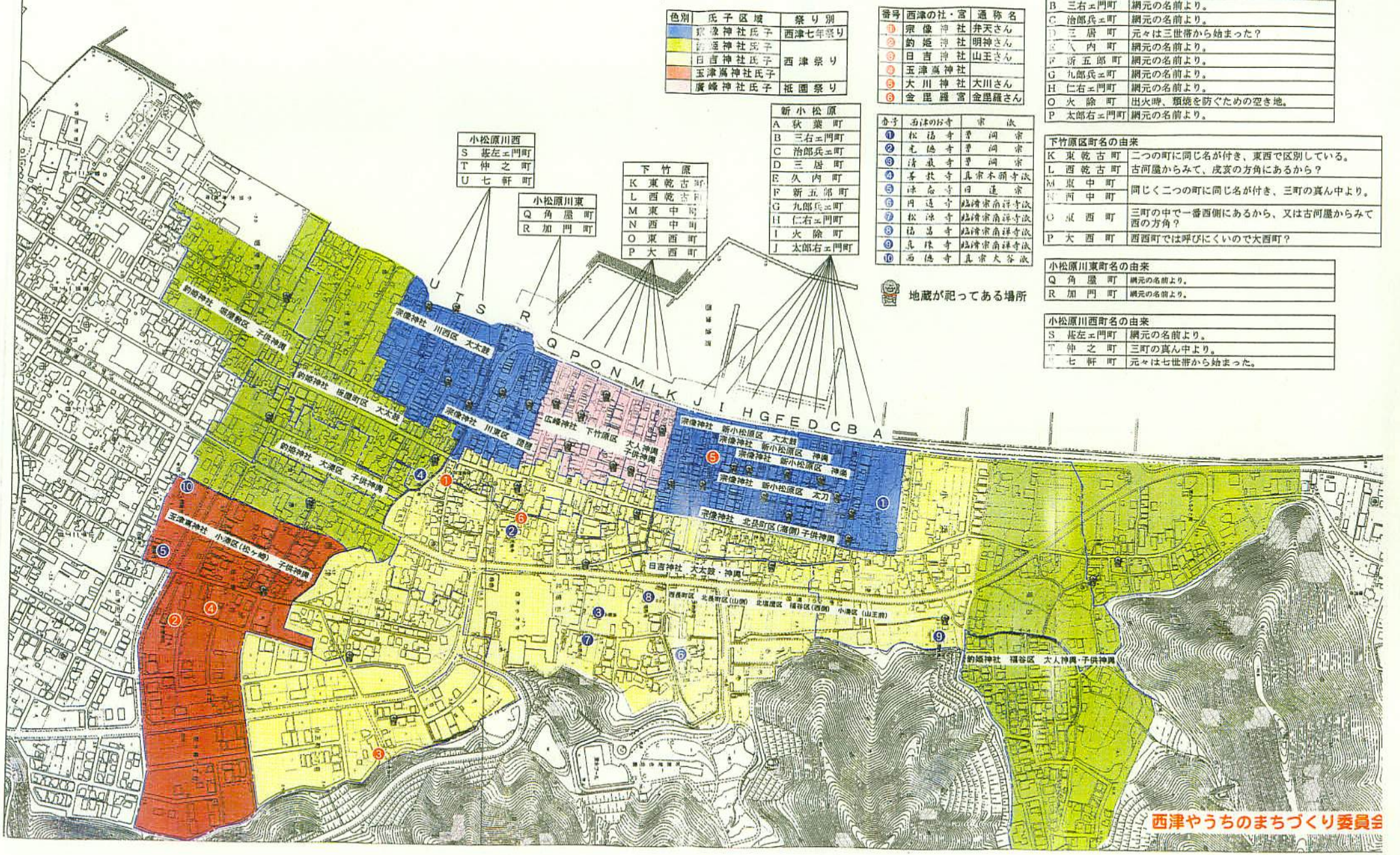
市道 多賀・竹原・松ヶ崎線

市道 西津・羽賀線

ほたるの町
再生候補地

ほたるの町
再生候補地

西津はやわかりマップ



色別	氏子区域	祭り別
緑	宗像神社氏子	西津七年祭り
黄	約姫神社氏子	
白	日吉神社氏子	西津祭り
赤	玉津嵐神社氏子	
青	廣峰神社氏子	祇園祭り

番号	西津の社・宮	通称名
①	宗像神社	弁天さん
②	約姫神社	明神さん
③	日吉神社	山王さん
④	玉津嵐神社	
⑤	大川神社	大川さん
⑥	金毘羅宮	金毘羅さん

新小松原	
A	秋葉町
B	三右エ門町
C	治郎兵衛町
D	三居町
E	久内町
F	新五郎町
G	九郎兵衛町
H	仁右エ門町
I	火除町
J	太郎右エ門町

番号	名跡の寺	宗派
①	松徳寺	曹洞宗
②	光徳寺	曹洞宗
③	清徳寺	曹洞宗
④	善法寺	真宗本願寺派
⑤	津奈寺	日蓮宗
⑥	月遠寺	臨濟宗角縁寺派
⑦	松津寺	臨濟宗角縁寺派
⑧	祐昌寺	臨濟宗角縁寺派
⑨	真徳寺	臨濟宗角縁寺派
⑩	西徳寺	真宗大谷派

新小松原区町名の由来	
A 秋葉町	近くに秋葉神社が祭ってあった？(有力説)
B 三右エ門町	網元の名前より。
C 治郎兵衛町	網元の名前より。
D 三居町	元々は三世帯から始まった？
E 久内町	網元の名前より。
F 新五郎町	網元の名前より。
G 九郎兵衛町	網元の名前より。
H 仁右エ門町	網元の名前より。
O 火除町	出火時、類焼を防ぐための空き地。
P 太郎右エ門町	網元の名前より。

下竹原区町名の由来	
K 東乾古町	二つの町に同じ名が付き、東西で区別している。
L 西乾古町	古河屋からみて、戌亥の方角にあるから？
M 東中町	
N 西中町	同じく二つの町に同じ名が付き、三町の真ん中より。
O 東西町	三町の中で一番西側にあるから、又は古河屋からみて西の方角？
P 大西町	西西町では呼びにくいので大西町？

小松原川東町名の由来	
Q 角屋町	網元の名前より。
R 加門町	網元の名前より。

小松原川西町名の由来	
S 甚左エ門町	網元の名前より。
T 仲之町	三町の真ん中より。
U 七軒町	元々は七世帯から始まった。

地蔵が祀ってある場所

小兵灣に沈む夕日 (堀屋敷海岸より)

